

—八幡製鐵所「夏季ゼロ災安全祈願祭」 挙行—

平成19年7月2日 高見神社

主催：新日本製鐵㈱八幡製鐵所

新日本製鐵㈱八幡製鐵所ならびに、新日鐵八幡製鐵労働組合、(社)八幡製鐵安全衛生協力会、新日鐵八幡関連労組協議会合同による「夏季ゼロ災安全祈願祭」が、さる2日、高見神社(北九州市八幡東区高見 波多野宮司)において執り行われた。

同祈願祭には、八幡製鐵所 藤井康雄所長(総括安全衛生管理者)、同所 谷本進治副所長、八幡労働組合 品川浩二組合長、(社)八幡製鐵安全衛生協力会 安西雄志会長(吉川工業常務取締役八幡支店長)、八幡関連労組協議会 高崎博志議長(濱田重工労働組合長)以下関係者 300 余名が降りしきる雨の中参列し安全祈願を誓った。

藤井所長は、神事後「ご安全に！我々は、“仕事を丁寧にきちんとやるキャンペーン”を展開しているが、この活動で現場が本当によくなっているのか、今一度、見直していただきたい。7月に入り夏季ゼロ災活動を開始致します。ここでお願いしたいのは、現場がどうなっているのか点検して、うまくいっていないことや改善しないといけないことにじっくりと取り組むことです。“現場をよくすること”、“現場を安全にすること”が第一です。この2ヶ月間、もう一度原点に返ってしっかりした安全活動をお願いします」と語った。

また、安西会長は、「ご安全に！7月に入り暑さも一段と厳しくなり、夏場特有の災害リスクが高まる季節となって参りました。この時期、一人一人が安全感性を高めることやリスクの改善を進めるのはもちろんのことですが、最も大切なことは、管理者自身が現場に根ざした風通しの良い安全活動を推進することです。具体的には今所長が申されたとおり、夏季ゼロ災活動の2ヶ月間、今年の前半の

活動を見直し、改善す

べき事にじっくり取り組み、年後半の安全活動につなげて行きましょう」と語り、「夏季ゼロ災期間中の無災害と19年後半の無災害達成に向けてバッチリ行こう！」と安全唱和で締めくくった。



“所長の挨拶”を聞き入る関係者一同



“原点に返って安全活動を”と訴える 藤井所長



安全祈願を行う関係者一同



無災害達成に向けて“バッチリ唱和”を行う安西会長